







この氏神様も  
金剛さまに  
とって思いつく深い  
場所なんです

「さっさと  
こいカカ  
カカ」

「ミニ開催  
された  
草相撲  
大会にも  
出られ  
ます。」

「見事に実現  
しましたね。スバラシイ  
ものですよ。」

「しかし、  
もっといい  
お社を建ててやる。」  
と友人に答えた  
そうです。  
今の社の本殿は  
金剛さまが建てた  
ものです。

金剛さまが幼少の頃、  
お社をこわしてしまっただけ  
があるそう  
です。

「次は多聞さまです  
ナミ  
ニヤミです  
つづく」

「早く起きて  
早行しましょう。」  
「早く  
行きます  
よ」

「早く起きて  
早行しましょう。」  
「早く  
行きます  
よ」



「私たちが  
総馬を  
奉納しま  
しょう！」  
「エマ!!  
ホーノー!!」

「ボスは食べもの  
ばかり。  
あ、総馬で  
すよ」

「いや、お参りしたら  
腹が減る。」

「よし願いが  
かなうのか？」  
「ええと  
あれと  
これと  
とれも...」

「社務所で  
買ってもらって  
お願いをさ書いて  
奉納するんです。」

「たまたま  
あったので  
小さなまじない  
が、かも食べ物  
ばかりい  
ね。」

「何これ?  
まじない  
じゃない  
か?」

氏神様と金剛さま ● 金剛さまは、  
天満天神社の本殿と拝殿を寄進  
されました。現在の拝殿はその後、  
新しく建て替えられたものです  
が、拝殿の後ろにある本殿は、金  
剛さまが寄進された当時のままで  
す。また天神社の左側に飾られた  
額は、昭和九年五月に寄進され  
た時に納められたものです。中  
央の天満宮の下には岡野聖憲の  
名前と会員の氏名が、また右の  
二段目には東京の東西南北中央  
の各支部などの名前がありが  
す。他にも参道に入っすぐ  
ある灯笼は、伊勢神宮への参詣  
記念として奉納されたもので、  
岡野家の方々の名前が刻まれて  
います。このように現在でも、  
各所に金剛さまを偲ぶものが残  
されています。